

令和4年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立六郷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・歌唱活動では、体を使って歌うことのできる生徒が増えてきた。
- ・鑑賞活動では、楽譜や画像や動画の効果的な活用で、知識や技能の習得率が上がった。
- ・グループ学習では、リーダーが中心となり生徒自ら進んで学習に取り組む姿勢が多く見られた。

(2) 課題

- ・グループ活動を通して、生徒同士が音楽で表現し合い、その課題に気づき、改善していけるような効率の良く活動できる授業を計画する。
- ・表現活動においては、一つの作品を全員で作りに上げる喜びと責任を共有し、全員が主体的に学習に取り組む態度の育成に努め、授業改善を図る。
- ・演奏活動において、各パートの役割に合った演奏の工夫をするよう促す。

2 過去の成果との比較・分析

- ・学習効果測定未実施教科。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
活動内容のスマールステップ化を図り、興味・関心を高め、効率よく学習に取り組ませる。	体を使った活動を行通して、他パートと合わせることの重要性を理解させる。	鑑賞した音楽的な特徴を言葉にすることができ、鑑賞したことをグループで共有することができる力を育成する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
活動内容のスマールステップ化を図り、興味・関心を高め、効率よく学習に取り組ませる。	他パートとの関わりを理解し、各パートの役割に応じた適切な表現活動を工夫させる。	鑑賞活動した音楽的な特徴と感受したことを言葉を表現活動に生かすことができる力を高める。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学んだ知識や技術を授業以外で生かすことのできる力を育成する。	生徒自身が、他パートとの関わりや、その役割に応じた適切な表現活動に気づき、工夫して表現する力を育成する。	鑑賞内容を議論し、鑑賞したことを表現活動に生かす力を高める。